



おかじま つよし
岡島 剛 議員
OKAJIMA Tsuyoshi

Q. 病児保育室の設置は

A. 近隣自治体の状況を調査研究

今回の選挙で服部町長は「子育て世代への支援・教育の充実」「高齢世代への対応」「防災、防犯対策」「経済・産業への支援・活性化」と、大きく4つのテーマでマニフェスト（選挙公約）を掲げられた。また、町長を1期務めた経験と民間企業での社長として培ったノウハウを活かし「役所と民間のいいところ取りを目指す。私自身も町と一緒に成長していきたい。」と新聞に掲載され、さまざまな場所で「敵味方を超えて、豊山町をひとつにしたい」と述べられている。しかし、残念ながら12月議会初日に聞いた町長の所信表明では、マニフェストで示されている期待した内容、特に町長が言う「豊山ブランド」について具体的な中身が一言も聞けなかった。確認のため質問する。

◎ 妊娠中から、産後にかけて、母親の体調不良などの理由により家事を行うことが困難で、家族からのサポート

トが十分受けられない場合など、支援が必要な家庭へヘルパーが派遣されている。この事業の充実と病児保育施設の設置についてどのように考えているか。

A 生活福祉部長
子育てヘルパー派遣事業

は、令和3年度から実施している。令和6年度からヤングケアラーや要保護児童などが

自治体名	施設名	運営
清須市	はあとキッズ	医療法人はあと
北名古屋市	こぐま病児保育室	師勝クリニック
小牧市	病児保育室ポケットクラブ	はやしこどもクリニック
小牧市	病児保育室ゆうかり	小木こどもクリニック

近隣市の病児保育施設

いる家庭も対象にして、対象者の拡大を行った。利用状況の推移を見守るとともに、利用者のご意見を伺いながら制度の拡充を判断したい。

病児保育は、現在、本町では実施していない。北名古屋市と小牧市の施設を紹介している。

病児保育事業を安定して運営していくには医療機関が適しているため、医療機関内に設置されているところがほとんどである。

本町における病児保育施設設置については、近隣自治体の状況を調査研究していく。

◎ 75歳以上の高齢者の外出支援や社会参加の促進を目的に、とよまタウンバスの高齢者割引を行う、高齢者おでかけパスの現状評価とデマンド交通との今後の展開について聞く。

A 生活福祉部長

高齢者おでかけパスは、令和6年9月から本格実施している。令和6年度の対象者



本格実施が始まった
高齢者おでかけパス

2227人に交付申請書を送付し、11月末現在で1220人から申請があった。のべ利用者は、9月は1115人、10月は1219人、11月は1263人であった。

タウンバスを利用した方が月平均で1000人以上いる現状を見ると、高齢者の方の外出や社会参加の促進に繋がっているのではないかと考えている。引き続き実施したい。

A 産業建設部長

デマンド交通の今後の展開については、令和6年12月から3カ月間、実証実験を行い、実証実験で得られた利用状況やアンケート結果、地域公共交通会議での意見などを踏まえながら、今後の方向性を検討していく。